

Book Travel

発行：日田高等学校図書委員会 発行日：2021年3月15日



春休み図書特別貸出を行っています。

期間：3月3日(水)～3月24日(水)

貸出冊数：1人5冊まで

返却期限：4月8日(木)

※特別貸出前に借りた本は、
春休み前に、必ず返却してください。



先生方のおすすめの本を紹介！

先生方におすすめの本を教えてくださいました！
普段勉強や部活動が忙しく、なかなか本を手にする機会が無いと思いますが、春休み期間を利用したり、勉強の息抜きなどに読書を取り入れてみませんか？

安部 公章 先生

《 夢をかなえるゾウ 》 水野 敬也 著

全4巻出ているが、1巻が1番おもしろい。主人公とガネーシャの掛け合いのテンポがすごく良い。こういう切り返しが会話の中でできると毎日楽しいだろうと思わせてくれる本です。笑いたい時にどうぞ。

上原 未桜 先生

《 蜜蜂と遠雷 》 恩田 陸 著

私が吹奏楽をやっているということで、知人がプレゼントしてくれました。ぶ厚い本ですが、情景や登場人物の心の移り変わり、そして音楽(これがすごい!)がどんどん頭に流れ、スピード感をもって読めます。サウンドトラックも買ってしまいました。

衛藤 加奈 先生

《 コブタの気持ちもわかってよ 》 小泉 吉宏 著

大学生の時に本屋で出会いました。シンプルな絵なのに、簡単な文なのに、心にぐりぐりつきさります。2回立ち読みして2回とも涙し、自分の手元においておきたくて購入しました。教員をめざす人にはぜひ読んでもらいたい絵本です。

安部 公章 先生

《 夢をかなえるゾウ 》 水野 敬也 著

全4巻出ているが、1巻が1番おもしろい。主人公とガネーシャの掛け合いのテンポがすごく良い。こういう切り返しが会話の中でできると毎日楽しいだろうと思わせてくれる本です。笑いたい時にどうぞ。

増本 直樹 先生

《 幸福な生活 》 百田 尚樹 著

長編の小説を集中して読むのが苦手な自分にとっては取っつきやすく、結末の一行だけが改ページされる構成になっているため、一文の楽しみを感じられます。

裏面に続きます。

木丸 将吾 先生

《 告白 》 湊 かなえ 著

私がこの本に出会ったのは3年前。当時勤めていた学校の職員室でした。職員室内のおすすめの本コーナーにありました。何となく手に取って読み始めると、続きが気になって、夢中になっていました。最後まで読むと、すべての伏線が回収されてスッキリします。私は、この本がきっかけで、読書が趣味になりました。皆さんもぜひ、読んでみてください。

松本 由紀 先生

《 タスキメシ箱根 》 額賀 滯 著

私は箱根駅伝を一人で見に行ったことがあるほど箱根駅伝好きです。あの必死に襷をつなぐ学生達が何を考え努力し続け、多くの学生が卒業後陸上を引退していくのか、ということが気になっていました。「努力は人を裏切るよ。ここぞというときに、裏切るよ。」スポーツでも勉強でも、頑張っている人に読んでほしいです。

亀山 真也 先生

《 「のび太」という生きかた 》 横山 泰行 著

小さい頃からよく見ていたドラえものののび太について書いていることに興味を持った。いつも頑張っているわけではないのび太の頑張り所など参考にしたい。

筒井 宏 先生

《 ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー 》
ブレディ みかこ著

少し話題になっているし、TVにも取り上げられることもあって気になって読んでみました。イギリスの抱える人種差別や貧富の差、価値観の差などの社会問題や多様式について、作者の中学生の息子が発する言葉や行動がとにかくカッコいい。色々と考えさせられる本です。

東 修平 先生

《 「手紙屋」 蛍雪篇～私の受験勉強を変えた十通の手紙～ 》
喜多川 泰 著

「なんで勉強してるんだろう？」みなさんはそんなことを考えたことはありませんか？そんな悩める学生におすすめするのが、この本です。私が読書に目覚めたきっかけの本でもあります。進路に悩む主人公「和花」は、十通のやりとりで夢を実現させる「手紙屋」に「勉強する意味」について手紙を送ります。その後、手紙屋の返信に書かれていたのは「勉強をやめてみて下さい」という言葉でした。手紙屋の真意は何なのでしょう？また、人が勉強する意味は？学習観・人生観に影響を与えてくれる一冊です。兄弟本の「手紙屋～僕の就職活動を変えた十通の手紙～」もオススメです。

原稿を提供して下さった先生方
大変お忙しい中ご協力いただき、
ありがとうございました！

